

## 自律学習支援ができる教師になりたい

### Sun\* Inc.の Tran Thi Kim Ngan 先生へのインタビュー

Ngan (ガン) 先生は Sun\*(アスタリスク) Inc.のダナン支社に所属し、ダナン工科大学で IT を学ぶ学生に日本語を教えていらっしゃいます。そして、当センターで今年 2020 年 9 月~11 月に実施した「まるごと先生お〜い！」という日本語教師対象の講座に参加されました。コース終了後にインタビューをさせていただきましたので、今回はそのお話を紹介します。



#### IT 企業が支える日本語教育

- Sun アスタリスクというのはどんな会社ですか。  
「IT の会社です。でも、私が勤めているのは教育部門で、月曜日から金曜日まで毎日ダナン工科大学へ行って学生に日本語を教えています。その学生たちは IT を勉強しながら日本語を勉強しているんです。Sun アスタリスクの教育部門ではハノイ工科大学、ハノイ国家大学技術工科大学、ホーチミン市国家大学情報通信大学、そして、ダナン工科大学で日本語を教えています。」

Sun\* Inc.は、2012 年に日本人がベトナムで立ち上げた会社です。創業時は Framgia(フランジア)という社名でしたが、2019 年 3 月に今の社名に変更していて、オフィスは東京、ハノイなどにあります。同社のサイトによれば、テック、デザイン、ビジネスの専門チームによる顧客企業の新規事業やプロダクト開発の支援と国内外における IT 人材の発掘・育成・紹介の 2 つのサービスラインで事

業を展開しているとのことでした。

2006 年から日本の ODA プロジェクトでハノイ工科大学において HEDSPI(Higher Education Development Support Project on ICT)というプロジェクトが実施されていたのをご存じでしょうか。これは日本の IT スキル標準に準拠した実践的な IT 教育プログラムで、この中で IT 学部生を対象とした日本語教育も行われていました。日本語ができる IT エンジニアを養成していたのです。ところが、このプロジェクトは 2014 年に期間満了となり終了してしまいました。その後、ハノイ工科大学に日本人エンジニアと日本語教師を派遣するようになったのが、Framgia、現在の Sun\*で、2016 年からは上述の通りハノイ国家大学、ホーチミン市国家大学とダナン工科大学での取り組みも始めたのです。

#### 熱心な先生との出会いから

-日本語教師になられたきっかけは？

「私は大学に入った時に初めて日本語を勉強しました。その時は日本語を勉強しておけば将来仕事を得るチャンスが多くなると聞いていたので勉強を始めました。でも、初めの 1、2 年はそれほど日本語に興味を持てなくて、英語専攻に進むことも考えていました。ところが、3 年生になった時に、若くて熱心な先生に出会って日本語が面白くなったんです。その先生の教え方は、教師があまり話

さないで学生にどんどん発言を促していくというものでした。私はそもそも話すのが好きなので、授業の時にたくさん話ができるとてもうれしかったのです。」

この先生との出会いがターニングポイントになり、日本語への関心を深めた彼女は日本語専攻で大学を卒業し、日本人が経営する会社に就職したそうです。初めの会社は製造業の会社、その後は経営コンサルティングの会社、合わせて2年余り勤めたそうですが、どちらの会社も社内に日本人がいて日常的に日本語を使わなければならないところだったそうです。日本語がまだ十分ではなくビジネスマナーもよく分からなかったので、とても大変だったとのこと。そんな中で彼女は勉強したことを他の人にも教えたいという気持ちで、夜、語学センターで日本語を教えるアルバイト始めたそうです。そして、そこで教えながら「日本語が発話できて、学生が自分で自分の日本語を発話する姿を見たらうれしい」と感じ、この仕事も面白いなあと考えて日本語教師になることを決めたそうです。

## 夜の海を散歩？

### - 教師の仕事はどうですか？

「教え始めてから3年半になりますが、毎日とても楽しいです。授業の時はたくさん活動を行って、学生が自分で自分の日本語を発言する、その時間が一番楽しいです。授業以外の時間では同僚とのコミュニケーション、もちろん日本語教育の話もあるし、関係ない時もありますけど、それが楽しい。また、学生との交流会とかもあって、本当に楽しいと感じています。」と、ガン先生は3年余り教師の仕事をしてきた今、毎日がとても充実している様子です。そして、彼女が大学3年生の時に出会った先生と同じように学習者にたくさん話をさせる授業を実践されているようです。どうしてそんなに楽しいのかと聞いてみると、「いろいろなタイプの学生がいて、それぞれの学生の気持ちを

ももっともっと知りたいと思うんです。また学生の考え方もいろいろで授業の時にそのいろいろな学生の考え方も分かってきます。例えば、趣味というテーマで話をした時、ある学生は趣味が散歩です、夜の海を歩きます、と言うんです。夜の海を散歩?!なんて考えたこともなくてびっくりしました。」



## 「まるごと先生お〜い！」

- 日本語の教え方についてはどこで学ばれたのですか？

「アルバイトをした時に少し勉強しました。そしてこの会社に入ってから、まず他の先生の授業を見学し、それから授業アシスタントとしてメインの先生と一緒に授業に入って教えるようになり、そして一人で教えるようになりました。私たちの会社ではサポート役として他の先生の授業に入ったり、チームティーチングをしたりすることもあります。授業以外の時に同僚の先生とこんな教え方をした、学生の反応はこうだったといった話もよくしています。他の先生からの視点や自分と違う考え方が分かってとても楽しいですよ。あとは本を読んで教え方を勉強したり、会社の中で行われる勉強会や日本語教育研究会のワークショップに参加したりしています。そして、今はオンライン講座もあります。その一つがJFの「まるごと先生お〜い！」でした。」

「まるごと先生お〜い！」はベトナム日本文化交流センター「JF日本語講座チーム」が新しく企画した日本語教師対象のオンライン講座で、今年の

2020年9~11月にパイロットコースを実施しました。『まるごと 日本のことばと文化』(以下、『まるごと』)を教材として使い、受講生が「学生の時間」に学習者となって自分の日本語力アップのために学び、「教師の時間」に『まるごと』を使って教えるための理論や実践的なテクニックを学ぶという2つの時間を組み合わせたユニークなコースです。

## 悩みは寝れば解決する！

### -「まるごと先生お~い」講座に参加された感想は？

『『まるごと』の特徴や教え方、評価などについて理解することができ、とても役に立つ講座でした。特に印象に残ったのは、「発見しましょう」の部分ですね。「発見しましょう」は、学習者に自分で考えてもらう部分ですので、学習者の自律性を育てることができると思いました。そして、普通は学習者が発見するんですが、時々先生も発見することに気づきました。こういう考え方もありますよ、というのを学習者から教わることもできるのです。また、『まるごと』のトピックに「悩み相談」がありました。「悩み相談」では人の悩みを聞き、それに対してアドバイスをします。例えば、グループで人間関係、仕事、恋愛、お金、仕事に関する悩みを話しました。みなさん、本当の悩みを話しました。そして、実際にいろいろなアドバイスをもらいます。例えば、「何も言わないで寝てください」とか、「好きな食べ物をたくさん食べてください」などのアドバイスが出てきてとても面白い授業になりました。」

## 学習者の自律性を育てたい

### - 日本語教師としての今後の抱負は？

「学習者にとって面白い授業をしたいです。面白いというのは人によって違うと思いますが、私にとってそれは学習者が自分の意見を言うことができる授業だと思います。そして、日本語を教えるだけではなく、学習者の自律性が育てられる授業

をしたいと思っています。今は私の時代と違います。私の時代にインターネットは普及していなかったので、学習素材も交流の機会も少なかったです。今、学習者は知りたいことを自分ですぐに調べることができます。インターネットに学習素材もあるし、勉強の機会もあります。自律性がない学習者はこうしたものを利用することができません。いい時代に勉強しているのに、困っている学習者がいるのです。自律学習でまず大切なのは目標です。目標がないとどこへどうやって行くかわかりません。私はこれをサポートしたいと思っています。」ガン先生のこうした考え方は、上で述べた社内の勉強会や研究会のワークショップで学んだそうです。はじめに述べた通り彼女が勤める会社はIT人材の発掘・育成に力を入れています。受け身的な学習をしていたのでは、時代の先端を行くべきIT分野においてイノベーションを起こすことはできないでしょう。ガン先生が日本語教師の抱負として、「日本語だけではなく、自律した学習者の育成」を語られたことにこの会社が担う日本語教育の革新的な可能性を感じました。

\*\*\*\*\*

- ・掲載写真はガン先生からご提供いただきました。
- ・インタビューはすべて日本語で行い、本稿はその内容を編集したものです。以下のサイトも参考にしました。

Sun\* Inc.

<https://sun-asterisk.com/>

<https://edu.sun-asterisk.com/>

HEDSPI について(ハノイ工科大学情報通信技術スクール  
(School of Information and Communication Technology))

<https://soict.hust.edu.vn/innovation/en/>

発行/国際交流基金ベトナム日本文化交流センター

発行日/2020年12月20日

監修/安藤敏毅(同センター所長)

執筆・編集/片桐準二(同センター日本語上級専門家)

編集/森近美菜(同センター日本語指導助手)

長田あさみ(同センターアジアセンター調整員)